MESACUP™ anti-ARS テスト

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0001_J-1
   構成品名:ARS感作マイクロカップ
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
Non Hazardous Substance	-	100	-	-

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置
   4.1 応急措置の記述
   一般的な措置
   気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
   吸入した場合
   吸入した場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。
   皮膚(又は髪)に付着した場合
   皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
   眼に入った場合
   水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
   飲み込んだ場合
   飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置
5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
5.2 特有の危険有害性
特有の危険有害性データなし
5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置
6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
6.4 参考情報
第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意
7.1 取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会

設定されていない

ACGIH

設定されていない

8.2 ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 固体

色 : 無色

臭いデータなし

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH : 適用外

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性
10.1 反応性
反応性データなし
10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報
11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[IARC]
(Non Hazardous Substance)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
生態毒性データなし
12.2 残留性・分解性
残留性・分解性データなし
12.3 生体蓄積性
生体蓄積性データなし
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。

MESACUP™ anti-ARS テスト

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0002_J-1
   構成品名:標準血清1
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.09	1-482	Self-react. G; Acute Tox. 2, H300; Acute Tox. 1, H310; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; STOT RE 2, H373; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 1, H410;
ポリソルベート20	9005-64-5	0.45	7-110; 8-55	-
アルブミン, ウシ由来(血しょう)	9048-46-8	1.00	-	-
水	7732-18-5	90.00<	既存化学物質	-

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置
   4.1 応急措置の記述
   一般的な措置
   気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合
吸入した場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし

5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報
第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。
7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置
8.1 管理指標
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会
設定されていない
ACGIH
(アジ化ナトリウム)
Ceiling: 0.29mg/m3(as Sodium azide); Ceiling: 0.11ppm(as Hydrazoic acid vapor) (心臓障害; 肺損傷)
8.2 ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 淡赤
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 7.45
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質

混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ラット LD50: 45 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(経皮)

[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ウサギ LD50: 20 mg/kg (出典: NITE)

労働基準法:疾病化学物質

アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性

[ACGIH]
(アジ化ナトリウム)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 96時間 ErC50: 348 μg/L (出典: NITE)
水溶解度
(アジ化ナトリウム)
41.7 g/100 mL (17℃) (出典: ICSC, 2014)
12.2 残留性・分解性
(アジ化ナトリウム)
急速分解性なし (分解度: 1% (by HPLC)) (出典: NITE)
12.3 生体蓄積性
(アジ化ナトリウム)
log Pow: < 0.3 (出典: NITE)
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
14.5 環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし
14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送
MARPOL条約附属書II - 有害液体物質
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法
優先評価化学物質
ポリソルベート20(通し番号222 生態影響)

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。

MESACUP™ anti-ARS テスト

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0003_J-1
   構成品名:抗ARS抗体標準液2
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.09	1-482	Self-react. G; Acute Tox. 2, H300; Acute Tox. 1, H310; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; STOT RE 2, H373; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 1, H410;
ポリソルベート20	9005-64-5	0.45	7-110; 8-55	-
アルブミン, ウシ由来(血しょう)	9048-46-8	1.00	-	-
6-アミノヘキサン酸	60-32-2	0.10	9-69	-
ベンゼンカルボキシイミドアミド, モノヒドロクロライド	1670-14-0	0.01	-	-
水	7732-18-5	90.00<	既存化学物質	-

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述
一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合
吸入した場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置
5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置
6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
6.4 参考情報
第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意
7.1 取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし

衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会
設定されていない
ACGIH
(アジ化ナトリウム)
Ceiling: 0.29mg/m3(as Sodium azide); Ceiling: 0.11ppm(as Hydrazoic acid vapor) (心臓障害; 肺損傷)

8.2 ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 淡赤
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 7.4
動粘性率データなし

溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性
反応性データなし

10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性

急性毒性(経口)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ラット LD50: 45 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(経皮)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ウサギ LD50: 20 mg/kg (出典: NITE)

労働基準法:疾病化学物質
アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[ACGIH]
(アジ化ナトリウム)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない
催奇形性データなし

生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 96時間 ErC50: 348 μg/L (出典: NITE)
水溶解度
(アジ化ナトリウム)
41.7 g/100 mL (17℃) (出典: ICSC, 2014)
12.2 残留性・分解性
(アジ化ナトリウム)
急速分解性なし (分解度: 1% (by HPLC)) (出典: NITE)
12.3 生体蓄積性
(アジ化ナトリウム)
log Pow: < 0.3 (出典: NITE)
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性
海洋汚染物質（該当/非該当）: 非該当
14.6 特別の安全対策
特別の安全対策データなし
14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送
MARPOL条約附属書II - 有害液体物質
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法
優先評価化学物質
ポリソルベート20(通し番号222 生態影響)

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)
改訂履歴
改訂情報なし
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)（令和5年度（2023年度）公表分まで))です。

MESACUP™ anti-ARS テスト

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0004_J-1
   構成品名:酵素標識抗体
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
p-ヒドロキシフェニル酢酸	156-38-7	0.10	9-1022	-
アルブミン, ウシ由来(血しょう)	9048-46-8	1.00	-	-
水	7732-18-5	95.00<	既存化学物質	-
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	55965-84-9	0.0023	5-5235; 9-378	-

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置
   4.1 応急措置の記述
   一般的な措置
   気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
   吸入した場合
   吸入した場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。
   皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置
5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
5.2 特有の危険有害性
特有の危険有害性データなし
5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置
6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
6.4 参考情報
第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意
7.1 取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
7.2 保管

安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会
設定されていない
ACGIH
設定されていない

8.2 ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 水色
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 7.4
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性
10.1 反応性
反応性データなし
10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報
11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
生態毒性データなし
12.2 残留性・分解性
残留性・分解性データなし
12.3 生体蓄積性
生体蓄積性データなし
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
14.5 環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
14.6 特別の安全対策
特別の安全対策データなし
14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送
MARPOL条約附属書II - 有害液体物質
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0005_J-1
   構成品名:反応用緩衝液
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.09	1-482	Self-react. G; Acute Tox. 2, H300; Acute Tox. 1, H310; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; STOT RE 2, H373; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 1, H410;
ポリソルベート20	9005-64-5	0.45	7-110; 8-55	-
アルブミン, ウシ由来(血しょう)	9048-46-8	1.00	-	-
水	7732-18-5	90.00<	既存化学物質	-

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置
   4.1 応急措置の記述
   一般的な措置
   気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合
吸入した場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし

5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報
第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。
7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置
8.1 管理指標
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会
設定されていない
ACGIH
(アジ化ナトリウム)
Ceiling: 0.29mg/m3(as Sodium azide); Ceiling: 0.11ppm(as Hydrazoic acid vapor) (心臓障害; 肺損傷)
8.2 ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 淡赤
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 6.4
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性
10.1 反応性
反応性データなし
10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報
11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ラット LD50: 45 mg/kg (出典: NITE)
急性毒性(経皮)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ウサギ LD50: 20 mg/kg (出典: NITE)
労働基準法:疾病化学物質
アジ化ナトリウム
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[ACGIH]
(アジ化ナトリウム)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 96時間 ErC50: 348 μg/L (出典: NITE)
水溶解度
(アジ化ナトリウム)
41.7 g/100 mL (17℃) (出典: ICSC, 2014)
12.2 残留性・分解性
(アジ化ナトリウム)
急速分解性なし (分解度: 1% (by HPLC)) (出典: NITE)
12.3 生体蓄積性
(アジ化ナトリウム)
log Pow: < 0.3 (出典: NITE)
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
14.5 環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし
14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送
MARPOL条約附属書II - 有害液体物質
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法
優先評価化学物質
ポリソルベート20(通し番号222 生態影響)

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)
改訂履歴
改訂情報なし
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。

MESACUP™ anti-ARS テスト

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0006_J-1
   構成品名:洗浄用緩衝液(20倍濃縮品)
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
ポリソルベート20	9005-64-5	2.74	7-110; 8-55	-
水	7732-18-5	75.00<	既存化学物質	-

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置
   4.1 応急措置の記述
   一般的な措置
   気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
   吸入した場合
   吸入した場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。
   皮膚(又は髪)に付着した場合
   皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
   眼に入った場合
   水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
   飲み込んだ場合

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

国際/国/地方の規則に従って保管すること。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替えないこと。

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会

設定されていない

ACGIH

設定されていない

8.2 ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭いデータなし

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH : 7.2

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性
10.1 反応性
反応性データなし
10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報
11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
生態毒性データなし
12.2 残留性・分解性
残留性・分解性データなし
12.3 生体蓄積性
生体蓄積性データなし
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送

MARPOL条約附属書II - 有害液体物質

有害でない物質(OS類)

水

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

ポリソルベート20(通し番号222 生態影響)

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN

IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)

2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。

MESACUP™ anti-ARS テスト

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0007_J-1
   構成品名:酵素基質液
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
過酸化水素	7722-84-1	0.007	1-419	Ox. Liq. 1, H271; Acute Tox. 4, H302; Acute Tox. 3, H311; Acute Tox. 2, H330; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; Carc. 2, H351; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; Aquatic Acute 1, H400;
ジメチルスルホキサイド	67-68-5	1.42	2-1553	Flam. Liq. 4, H227; STOT SE 2, H371;
二ナトリウム=2,2'-{エタン-1,2-ジイルビス[(カルボキシメチル)イミノ]}ジアセタート=二水和物	6381-92-6	0.13	2-1265	-
水	7732-18-5	95.00<	既存化学物質	-
3,3',5,5'-テトラメチルベンジジン	54827-17-7	0.03	-	-

危険有害成分
労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分
ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分
ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

4. 応急措置
4.1 応急措置の記述
一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合
吸入した場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。
4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置
5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
5.2 特有の危険有害性
特有の危険有害性データなし
5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置
6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
6.4 参考情報
第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意
7.1 取扱い

技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標
管理濃度及び濃度基準値
（過酸化水素）
濃度基準値 TWA: 0.5ppm
許容濃度
日本産業衛生学会
設定されていない
ACGIH
（過酸化水素）
TWA: 1ppm（眼、上気道及び皮膚刺激）

8.2 ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 無色
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 4.9
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質

混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[NITE-CHRIP]
(過酸化水素)
ラット LD50: 805 mg/kg (出典: NITE)
(ジメチルスルホキサイド)
ラット LD50: 14500 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(経皮)

[NITE-CHRIP]
(過酸化水素)
ウサギ LD50: 690 mg/kg (被験物質: 本物質90%溶液) (出典: NITE)
(ジメチルスルホキサイド)
ラット LD50: 40000 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(吸入)

[NITE-CHRIP]
(過酸化水素)
蒸気: ラット LC50: 2000 mg/m3 (4時間) (出典: NITE)
エアロゾル: マウス LC50: 920 - 2000 mg/m3 (2時間) (4時間換算: 0.46 - 1.00 mg/L) (被験物質: 本物質の90%溶液) (出典: NITE)
(ジメチルスルホキサイド)
ミスト: ラット LC50: > 5330 mg/m3 (4時間) (出典: NITE)　　労働基準法:疾病化学物質

過酸化水素
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[NITE-CHRIP]
(過酸化水素)
区分 1 (出典: NITE)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[NITE-CHRIP]
(過酸化水素)
区分 1 (出典: NITE)
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[IARC]
(過酸化水素)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(過酸化水素)
A3: 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[NITE-CHRIP]
(ジメチルスルホキサイド)
区分 2 (呼吸器) (出典: NITE)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(過酸化水素)
藻類 (ニッチア) 72時間 EC50: 0.85 mg/L (出典: NITE)
甲殻類 (オオミジンコ) 24時間 EC50: 2.3 mg/L (出典: NITE)
(ジメチルスルホキサイド)
甲殻類 (ブラインシュリンプ) 24時間 EC50: 6830 mg/L (出典: NITE)
水生環境有害性 長期(慢性)
[NITE-CHRIP]
(過酸化水素)
藻類 (クロレラ) 72時間 NOEC: 0.1 mg/L (出典: NITE)
水溶解度
(過酸化水素)
混和する (出典: ICSC, 2018)
(ジメチルスルホキサイド)
混和する (出典: ICSC, 2000)

12.2 残留性・分解性

(過酸化水素)
急速分解性あり (出典: NITE)

12.3 生体蓄積性

(過酸化水素)

log Pow: -1.36 (出典: ICSC, 2018)
(ジメチルスルホキサイド)
log Pow: -1.35 (計算値) (出典: ICSC, 2000)

12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし

12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策
特別の安全対策データなし

14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送
MARPOL条約附属書II - 有害液体物質
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
ジメチルスルホキサイド(規則別表第2の1035,令和8年4月1日施行)
名称通知危険/有害物
ジメチルスルホキサイド(規則別表第2の1035,令和8年4月1日施行)
皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)
ジメチルスルホキサイド
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法
優先評価化学物質
ニナトリウム=2,2'-{エタン-1,2-ジイルビス[(カルボキシメチル)イミノ]}ジアセタート=二水和物
(通し番号268 生態影響)
水質汚濁防止法
指定物質
過酸化水素(法令番号4)

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)
改訂履歴
改訂情報なし
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。

MESACUP™ anti-ARS テスト

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0008_J-1
   構成品名:反応停止液
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   健康に対する有害性
   皮膚腐食性/刺激性:区分 1
   眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1
   特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2
   特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2
   環境有害性
   水生環境有害性 長期(慢性):区分 3
   (注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素

   注意喚起語:危険
   危険有害性情報
   H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
   H318 重篤な眼の損傷
   H371 臓器の障害のおそれ
   H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
   H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
   注意書き
   安全対策
   P273 環境への放出を避けること。
   P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
   P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
   P280 保護手袋を着用すること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置
P321 特別な処置が必要である。
P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
P310 直ちに医師に連絡すること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
P304 + P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P302 + P352 皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
保管
P405 施錠して保管すること。
廃棄
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
硫酸	7664-93-9	2.45	1-430	Met. Corr. 1, H290; Acute Tox. 2, H330; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; Aquatic Acute 3, H402; Aquatic Chronic 1, H410;
水	7732-18-5	95.00<	既存化学物質	-

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

硫酸

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

硫酸

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。
特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
施錠して保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。
7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置
8.1 管理指標
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会
(硫酸)
(最大許容濃度) 1mg/m3
ACGIH
(硫酸)
TWA: 0.2mg/m3(T) (肺機能)
8.2 ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 無色
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : <1.0
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

9.2 その他のデータ
その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性
反応性データなし

10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)
[NITE-CHRIP]
(硫酸)
ラット LD50: 2140 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(吸入)
[NITE-CHRIP]
(硫酸)
ミスト: ラット LC50: 0.375 mg/L (4時間) (OECD TG 403) (出典: NITE)

労働基準法:疾病化学物質
硫酸

局所効果

皮膚腐食性/刺激性
[pHに基づく分類根拠]
pH <= 2 であることから、皮膚腐食性/刺激性:区分1に分類した。
[NITE-CHRIP]
(硫酸)
区分 1 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[pHに基づく分類根拠]

pH <= 2 であることから、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分1に分類した。
[NITE-CHRIP]
(硫酸)
区分 1 (出典: NITE)
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[IARC]
(硫酸)
Group 1 : ヒトに対して発がん性がある
[ACGIH]
(硫酸)
A2: ヒト発がん性の疑いがある
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[NITE-CHRIP]
(硫酸)
区分 1 (呼吸器) (出典: NITE)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[NITE-CHRIP]
(硫酸)
区分 1 (呼吸器) (出典: NITE)
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(硫酸)
魚類 (ブルーギル) 96時間 LC50: 16 - 28 mg/L (pH: 3.25 - 3.5) (出典: NITE)
甲殻類 (オオミジンコ) 24時間 LC50: 29 mg/L (出典: NITE)
水生環境有害性 長期(慢性)
[NITE-CHRIP]
(硫酸)
魚類 (カダヤシ) 45日間 NOEC (成長): 0.025 mg/L (pH: 6.0) (出典: NITE)
水溶解度
(硫酸)
混和する (20℃) (出典: ICSC, 2016)
12.2 残留性・分解性
残留性・分解性データなし
12.3 生体蓄積性
生体蓄積性データなし
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号 : 2796

14.2 正式輸送名 :

硫酸(濃度が51質量%以下のものに限る。)又は電池液(酸性のものに限る。)

14.3 分類または区分 : 8

14.4 容器等級 : II

指針番号: 157

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号 : 2796

14.2 正式輸送名 :

硫酸(濃度が51質量%以下のものに限る。)又は電池液(酸性のものに限る。)

14.3 分類または区分 : 8

14.4 容器等級 : II

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 2796

14.2 正式輸送名 :

硫酸(濃度が51質量%以下のものに限る。)又は電池液(酸性のものに限る。)

14.3 分類または区分 : 8

危険性ラベル : Corrosive

14.4 容器等級 : II

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送

MARPOL条約附属書II - 有害液体物質

有害液体物質(Y類)

硫酸

有害でない物質(OS類)

水

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

硫酸

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

硫酸

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

腐食性物質 分類8

航空法

腐食性物質 分類8

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法
特化則 特定化学物質 第3類
硫酸
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
硫酸(規則別表第2の2229)
名称通知危険/有害物
硫酸(規則別表第2の2229)
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
大気汚染防止法
特定物質 政令第10条第1号から第28号
硫酸(政令第10条第18号)
水質汚濁防止法
指定物質
硫酸(法令番号15)

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)
改訂履歴
改訂情報なし
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。

MESACUP™ anti-ARS テスト

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0009_J-1
   構成品名:抗ARS抗体陽性コントロール
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.09	1-482	Self-react. G; Acute Tox. 2, H300; Acute Tox. 1, H310; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; STOT RE 2, H373; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 1, H410;
ポリソルベート20	9005-64-5	0.45	7-110; 8-55	-
アルブミン, ウシ由来(血しょう)	9048-46-8	1.00	-	-
6-アミノヘキサン酸	60-32-2	0.10	9-69	-
ベンゼンカルボキシイミドアミド, モノヒドロクロライド	1670-14-0	0.01	-	-
水	7732-18-5	90.00<	既存化学物質	-

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述
一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合
吸入した場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置
5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置
6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
6.4 参考情報
第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意
7.1 取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし

衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会
設定されていない
ACGIH
(アジ化ナトリウム)
Ceiling: 0.29mg/m3(as Sodium azide); Ceiling: 0.11ppm(as Hydrazoic acid vapor) (心臓障害; 肺損傷)

8.2 ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 無色
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 7.4
動粘性率データなし

溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性
反応性データなし

10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ラット LD50: 45 mg/kg (出典: NITE)
急性毒性(経皮)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ウサギ LD50: 20 mg/kg (出典: NITE)
労働基準法:疾病化学物質
アジ化ナトリウム
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[ACGIH]
(アジ化ナトリウム)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない
催奇形性データなし

生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 96時間 ErC50: 348 μg/L (出典: NITE)
水溶解度
(アジ化ナトリウム)
41.7 g/100 mL (17℃) (出典: ICSC, 2014)
12.2 残留性・分解性
(アジ化ナトリウム)
急速分解性なし (分解度: 1% (by HPLC)) (出典: NITE)
12.3 生体蓄積性
(アジ化ナトリウム)
log Pow: < 0.3 (出典: NITE)
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性
海洋汚染物質（該当/非該当）: 非該当
14.6 特別の安全対策
特別の安全対策データなし
14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送
MARPOL条約附属書II - 有害液体物質
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法
優先評価化学物質
ポリソルベート20(通し番号222 生態影響)

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)
改訂履歴
改訂情報なし
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)（令和5年度（2023年度）公表分まで))です。

MESACUP™ anti-ARS テスト

作成日: 2025年08月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : MESACUP™ anti-ARSテスト
   SDS NO:7840_0010_J-1
   構成品名:陰性コントロール
   品番:7840
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 体外診断用医薬品
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.09	1-482	Self-react. G; Acute Tox. 2, H300; Acute Tox. 1, H310; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; STOT RE 2, H373; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 1, H410;
ポリソルベート20	9005-64-5	0.45	7-110; 8-55	-
アルブミン, ウシ由来(血しょう)	9048-46-8	1.00	-	-
6-アミノヘキサン酸	60-32-2	0.10	9-69	-
ベンゼンカルボキシイミドアミド, モノヒドロクロライド	1670-14-0	0.01	-	-
水	7732-18-5	90.00<	既存化学物質	-

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述
一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合
吸入した場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置
5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置
6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
6.4 参考情報
第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意
7.1 取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし

衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会
設定されていない
ACGIH
(アジ化ナトリウム)
Ceiling: 0.29mg/m3(as Sodium azide); Ceiling: 0.11ppm(as Hydrazoic acid vapor) (心臓障害; 肺損傷)

8.2 ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 無色
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 7.4
動粘性率データなし

溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性
反応性データなし

10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性

急性毒性(経口)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ラット LD50: 45 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(経皮)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ウサギ LD50: 20 mg/kg (出典: NITE)

労働基準法:疾病化学物質
アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[ACGIH]
(アジ化ナトリウム)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない
催奇形性データなし

生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 96時間 ErC50: 348 μg/L (出典: NITE)
水溶解度
(アジ化ナトリウム)
41.7 g/100 mL (17℃) (出典: ICSC, 2014)
12.2 残留性・分解性
(アジ化ナトリウム)
急速分解性なし (分解度: 1% (by HPLC)) (出典: NITE)
12.3 生体蓄積性
(アジ化ナトリウム)
log Pow: < 0.3 (出典: NITE)
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性
海洋汚染物質（該当/非該当）: 非該当
14.6 特別の安全対策
特別の安全対策データなし
14.7 IMO規則に従うばら積み海上輸送
MARPOL条約附属書II - 有害液体物質
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法
優先評価化学物質
ポリソルベート20(通し番号222 生態影響)

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.34 (https://www.asahi-ghs.com/)
改訂履歴
改訂情報なし
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)（令和5年度（2023年度）公表分まで))です。